

プライベートバンカー (PB) 資格試験結果 (2015年3月まで) について

公益社団法人日本証券アナリスト協会では、2013年6月より実施しているプライマリー・プライベートバンカー (プライマリーPB<中級レベル>)、シニア・プライベートバンカー (シニアPB<上級レベル>)、2014年1月より実施しているプライベートバンキング・コーディネーター (PB コーディネーター<初級レベル>) の試験について (試験の概要は4ページ参照)、PB 資格試験委員会 (委員長: 新井 富雄 東京大学 金融教育研究センター 副センター長) の審議を経て、合格者を決定している。2015年3月末までの合否結果の概要は以下の通りとなっている。

1. PB コーディネーターのコンピュータ試験 (2014年1/11日~2015年3月末)

PB コーディネーター試験*の受験者数は累計で147名、合格者数 (資格認定者数) は136名、合格率は92.5%となった。

* PB コーディネーターは、富裕層のお客様の“ニーズを汲み取る力”と、顧客ニーズを各分野の相応しい専門家・専門部署に“つなぐ力”を重視した、初級レベルの資格。メインテキストは「あなたもなれる! PB コーディネーター」で、コンピュータ試験は1回の総合試験で合否を判定。

▽ PB コーディネーターのコンピュータ試験の状況

— 2014年1/11日から2015年3月末までの累計 —

	受験者数 (名)	合格者数 (名)	合格率 (%)
合計	147	136	92.5

【参考】PB コーディネーター試験: 資格認定者数上位3社

- | | |
|----------------|-----|
| 1. 共和証券(株) | 13名 |
| 2. みずほ証券(株) | 6名 |
| 3. 三井住友信託銀行(株) | 4名 |

2. プライマリーPBのコンピュータ試験 (2013年6/29日~2015年3月末)

プライマリーPB試験の3単位*すべてに合格したプライマリーPB 資格認定者数は、累計で443名となった。

* プライマリーPBのコンピュータ試験は、7科目を3単位に振り分けて実施。
メインテキストは、「プライベートバンキング」上下巻。

▽ プライマリーPB（コンピュータ試験）の単位別試験の状況

— 2013年6/29日から2015年3月末までの累計 —

	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（%）
第1単位	529	424	80.2
第2単位	486	371	76.3
第3単位	455	369	81.1
合計（延べ）	1,470	1,164	79.2

【参考】プライマリーPB試験：資格認定者数上位5社

1. みずほ証券(株)	116名
2. SMBC日興証券(株)	43名
3. 東海東京証券(株)	27名
4. 共和証券(株)	24名
5. 野村証券(株)	14名

3. シニアPBのコンピュータ試験等

(1) シニアPBのコンピュータ試験(2013年6/29日～2015年3月末)

シニアPB試験の3単位*すべてに合格した筆記試験の受験資格付与者数は、
累計で144名となった。

* シニアPBのコンピュータ試験は、7科目を3単位に振り分けて実施。メイン
テキストは、「プライベートバンキング」上下巻。

▽ シニアPB（コンピュータ試験）の単位別試験の状況

— 2013年6/29日から2015年3月末までの累計 —

	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（%）
第1単位	278	185	66.5
第2単位	278	184	66.2
第3単位	284	167	58.8
合計（延べ）	840	536	63.8

【参考】シニア PB（コンピュータ試験）：3 単位合格者数上位 5 社
(筆記試験の受験資格付与者数)

1. みずほ証券(株)	17 名
2. 野村証券(株)	16 名
3. (株)池田泉州銀行	8 名
3. (株)三菱東京UFJ銀行	8 名
5. (株)みずほ銀行	5 名

(2) シニア PB の筆記試験

シニア PB の筆記試験は、これまでの累計で、受験者数 117 名に対し合格者数は 27 名で、合格率は 23.1%であった。

合格者 27 名は、所定の実務経験を積んでおり、シニア PB 資格認定者となった。

【参考】シニア PB 合格者（27 名）の内訳

〔所属〕	〔保有資格〕
銀行・信金 9 名	CMA（当協会検定会員） 16 名
証券会社 8 名	CFP・1 級 FP 技能士 13 名
公認会計士 2 名	(CMA との重複 3 名)
投資運用 1 名	
その他金融 3 名	
その他 4 名	

以 上

【本件に関する照会先】

公益社団法人 日本証券アナリスト協会

PB 教育運営

TEL : 03-3666-1511

Email: p-pb@saa.or.jp

【参考】プライベートバンカー（PB）資格試験の概要

1. プライベートバンキング（PB）教育プログラムについて

プライベートバンキング（PB）教育プログラム・同資格試験制度は、日本証券アナリスト協会が、創立 50 周年記念事業の一環として創設しました*。

* プライベートバンキングあるいは「プライベートバンカー」という言葉は、欧米では広く普及していますが、日本の金融文化の中では十分消化されているとは言い難い状況です。

しかし、わが国では、少子高齢化、長寿化が急進展しており、高齢者に集中する資産を如何に円滑に次の世代に承継していくか、個人ないしオーナー経営者の事業承継など多様なニーズに如何に対応していくかが、国民経済的にも喫緊の課題になっています。

こうしたニーズに応える「プライベートバンカー」がわが国で数多く育成され、活躍していくことを願って、PB 教育プログラムを創設しました。

2. コンピュータ試験の概要

プライベートバンカー資格のコンピュータ試験のうち、プライマリーPB（中級レベル）とシニア PB（上級レベル）は 2013 年 6 月 29 日より開始し、PB コーディネーター（初級レベル）は 2014 年 1 月 11 日より開始しました。

試験は、全国 100 か所余の試験会場ではほぼ毎日受験できます（祝日・年末年始等を除く）。

（1）PB コーディネーターのコンピュータ試験

コンピュータ試験は 1 回の総合試験で実施しています。メインテキストは「あなたもなれる！PB コーディネーター」。

（2）プライマリーPB のコンピュータ試験

試験は、7 科目を次の 3 単位に分けて実施しています。メインテキストは、「プライベートバンキング」上下巻。

- ・第 1 単位（ウェルスマネジメント）
- ・第 2 単位（税金、不動産）
- ・第 3 単位（信託・エステートプランニング、リレーションシップ・マネジメント、マス富裕層、職業倫理）

3 単位の試験に合格することで、プライマリーPB の資格を認定します。

（3）シニア PB のコンピュータ試験

試験は、7 科目を次の 3 単位に分けて実施しています。メインテキストは、「プライベートバンキング」上下巻。

- ・第 1 単位（ウェルスマネジメント）
- ・第 2 単位（税金、不動産）
- ・第 3 単位（信託・エステートプランニング、リレーションシップ・マネジメント、マス富裕層、職業倫理）

3 単位の試験に合格することで、筆記試験の受験資格を付与します。筆記試験に合格し、一定の実務経験があれば、シニア PB の資格を認定します。

以上